

学生の「日常の丹精」を推進するための提案

一、ひのきしん

身近にいる学生と月に一度「ひのきしん」をし、
そのなかで学生の話に耳を傾け、徳積みの大切さや
信仰の喜びを伝えていく

一、別席・おさづけ

なぜ「別席」を運ぶのかを説明し、学生が自ら進んで
「おさづけ」を取り次げるように丹精する

学生の「日常の丹精」を推進するための提案

常日頃は、学生層育成の上に真実をお尽くしくくださり、誠にありがとうございます。

昨年より新型コロナウイルス感染症拡大という世界的な事情をお見せいただき、行事や活動も行にくい状況にあります。しかしながら、一人ひとりの学生時代は限られていますので、どんな状況下においても継続的な丹精が求められます。そこで今年は、ご承知の通り、日常の丹精を通して、“教祖のようぼくとして共に育っていこう”と申し合わせて学生の育成に取り組んでいるわけですが、これから年末にかけて、「ひのきしん」と「別席・おさづけ」に焦点を当てて、より一層、日常の丹精に力を入れていきたいと存じます。

もちろん、「ひのきしん」と「別席・おさづけ」は決して目新しいことではなく、これまでもいろいろな形で取り組んできていることであります。しかし、今回は、大勢の学生を集めることや行事の開催を目的にするのではなく、以下のように、たとえ一人からでも着実に信仰を伝えることに重きをおいて取り組んでいきたいと存じます。

一、ひのきしん

身近にいる学生と月に一度「ひのきしん」をし、そのなかで学生の話に耳を傾け、徳積み大切さや信仰の喜びを伝えていく

○直属学生担当委員会における取り組み例

- (1) 委員長をはじめ、各委員が月に一度、身近な学生と教会に参拝に行き、短時間でも草抜きやゴミ拾いをするなど、共に「ひのきしん」をするなかで、徳積み大切さを伝えていく。
- (2) 学生と「ひのきしん」をしながら、近況を聞いたり、進路や心配事の相談に乗りつつ、信仰的な考え方を伝えていく。
- (3) 教会長や婦人会からも学生に声をかけてもらい、月次祭準備や食事準備(野菜を切ったり、お皿を出したり)と一緒にしながら、信仰の喜びを伝えていってもらえるよう促していく。
- (4) 青年会が部内を回って「ひのきしん」をしているところなどは、学生に参加を促しても良い。但し、青年会と事前によく話しあって、信仰の喜びを伝えてもらえるようお願いする。

○教区学生担当委員会における取り組み例

- (1) 教区学生担当委員会も、ひのきしんを通して学生の丹精をするとともに、各支部の担当者に、直属での動きを後押ししてもらえるように、支部内の教会長や布教所長夫妻への今回の取り組みの啓蒙をお願いする。

一、別席・おさづけ

なぜ「別席」を運ぶのかを説明し、学生が自ら進んで「おさづけ」を取り次げるように丹精する

○直属・教区学生担当委員会における取り組み例

- (1) 学生会のスタッフをしている学生など、一定の関係性を持っていて、学生に対して、学生の更なる成人した姿を思い浮かべ、おたすけのできるようぼくへと丹精するために「別席」を勧める。ただし、ここでの力点は、初席や中席を勧めること以上に、なぜ「別席」を運ぶのかを説明したり、具体的に「おさづけ」を取り次ぎたい人のことを思い浮かべてもらうなどして、学生が自主的に「別席」を運び、おたすけのできるようぼくになるよう丹精することにある。
- (2) 学生がようぼくになるためには、教会からの丹精はもちろん欠かせないが、教区においても学担が、所属教会から離れて暮らす学生へ積極的に働きかけをすることが求められる。
- (3) 学生との定期的な会議（リモートも含む）などを持っている場合には、行事の相談や雑談で終わるのではなく、おちばがえりや別席の運び状況などを聞くなどして、相手の状況に合わせて「別席」を勧める。
- (4) 本部の祭典などに合わせたおちばがえりだけでなく、曜日などに合わせた少人数でのおちばがえり便を作り、直属や教区内に周知する。移動中にもお誓いの言葉を説明したり、「おさづけ」に関する自らの体験談を話したりする。
- (5) 学生会行事の一コマはもちろん、さまざまな機会に学生に、「おさづけ」を通してご存命の教祖にお働きいただけることの有難さや、そのための日々のつとめ方について伝えていく。
- (6) 「おさづけの理」を拝戴している学生には、一緒におたすけ先を周ったりするなど、「おさづけ」の取り次ぎができる機会を作っていく、やがて学生が自ら進んで人に「おさづけ」を取り次いでいけるよう丹精していく。

以上のように、これから、「ひのきしん」と「別席・おさづけ」に注目して、学生一人ひとりの丹精に取り組んでいくことを提案させていただきたいと存じます。

どうぞ各学生担当委員会でご検討、ご推進のほど、よろしくお願い申し上げます。